

2月 れんげだより

令和5年2月

ひんやりとした空気を肌で感じたり、吐く息の白さを楽しんでいるれんげ組さん。冬ならではの遊びや楽しみを見つけながら、今月も元気いっぱい笑顔いっぱいに過ごしたいと思います。

～1月のれんげ組の様子～

新しい年を迎え、久しぶりにお友だちと会い嬉しそうなれんげ組さん。お部屋では、福笑いやけん玉、めんこや羽根つきなどお正月遊びを楽しみました。また、発表会からなわとびブームも続いています。駆け足跳びや交差跳びなど新しい技に挑戦したり、さくら組さんが跳んでいた大縄にも興味津々。タイミングを見て縄に入るのも難しいですが、何度もチャレンジしコツを掴んでいるところです。ある日の遊戯室でのこと。真剣な表情で跳んでいるお友だちに、周りのお友だちも回数を数えながら応援します。30回を超えると「すごいね」という声が聞こえ始め、50回を超えると周りのお友だちも真剣な表情になってきました。80、90、と回数が増えていくと固唾を呑んで見守っています。いつのまにかみんなの心がひとつになり、一緒に100回を目指します。見事、100回まで跳ぶと「お～!!!」「やったー!すごいね!!!」と自分のことのように喜ぶれんげ組さん。100回という大記録を跳んだお友だちも晴れやかな表情で、みんなの大歓声に少し恥ずかしそうです。いろいろなことに興味を持ち、挑戦しようとするれんげ組さん。今後も挑戦する過程も大切に見守っていききたいと思います。

グループ替えもしましたよ。くじ引きで同じグループになったお友だちとグループ名を考えました。「○○がいい!」と自分の思いを伝えますが、「□□がいいな」といろいろな意見が出てきます。自分の思いが通らないもどかしさを感じながら、どうすればいいのか子どもたちなりに考えます。保育者も輪に入り、必要なところは整理しながら、お友だちの思いを聞くことを大切に、どうしたら良いのか一緒に考えました。「○○ちゃんは何がいいの?」「△△が良かったんだね」とやりとりの中でお友だちにも思いがあることに気付きます。思いを伝え合い、受け止めてもらう中で「じゃあ、じゃんけんしたら良い!」「○○と□□をくっつけるのは?」と案が出てきました。生活や遊びの中で、自分の思いを伝えること、相手の思いに気付くこと、どうしたら良いのか考えることを大切にしています。時にはお友だちとぶつかることもあります。ひとりひとりの思いをしっかりと聞きながら、自分も仲間も大切にできる気持ちを育てていきたいと思います。

【今月の保育のねらい】



- ❖ 氷や雪などの冬ならではの自然に触れ、遊びに取り入れる楽しさを味わう
- ❖ 相手にも思いがあることを知り、自分なりに理解しようとする。



【お知らせとお願い】

- お弁当の日は4日(土)と20日(月)です。お弁当と水筒のご用意をお願いします。
- 体操あそびは13日(月)と20日(月)と27日(月)です。体操服での登園をお願いします。
- 進級に向け、個人の色鉛筆を使用したいと思います。準備ができ次第、園に持ってきて頂くようお願いいたします。また、色鉛筆1本1本に記名をお願いします。

